

「プライドを捨ててこそ受け取るプレゼント」

友人からもらったプレゼントの中身が、ダイエットの本だったとしましょう。そしてまた、別の人からもらったプレゼントを開けてみると、『利己心を退治せよ』というタイトルの本が出てきたとします。その友人たちに「本当にありがとう」と言うなら、あなたは「私は実は太っていて利己的な人間だ」と認めていることになります。

このように、プレゼントにも受け入れにくいものがあります。自分の過ちや弱点を受け入れ、助けが必要なことを認めることになるからです。

イエス様が与えてくださるプレゼントは、私たちのプライドを完全に捨ててこそ受け取ることができます。福音のプレゼントは、自分が徹底的に失われた存在であり、自分の力や努力では自分を救うことができず、神様の御子の死以外の何によっても救われないということを認めさせます。

人生の真のプレゼントを受け取るためには、自分が罪人であることを認め、恵みによって救われたことを認めなければなりません。自分の人生をコントロールする権限を捨てなければなりません。気が向かなくても、最も低いところへ下りて行かなければなりません。

イエス様はどん底にまで下って来て私たちが愛してくださいました。なんと偉大な愛でしょうか。

霊的に新しく生まれ、偉大な愛を経験するためには、イエス様が歩まれた道へと下りて行かなければなりません。私たちの人生を大きな恵みで照らすその方の光がなければ、自分を救うどころか、自分のことを正しく知ることもできないというのが、福音の根本真理です。

リビングライフ・コラムより

2023年08月06日

週報

§ 今年の教会テーマ
「恵みあふれる教会」

§ 今年の主題聖句
「私たちはみな、この方の満ち満ちた豊かさの中から、
恵みの上にさらに恵みを受けた。」 ヨハネ1章16節

〒513-0035 鈴鹿市矢橋町 471-2
宗教法人 日本ネクスト・タウンズ・クルセード
鈴鹿キリスト福音教会
059-383-5145 (教会)

今週の礼拝メッセージ
主 題
聖 書 簡 所

岩井牧師
「挫折や失敗からの成長」
使徒 13:13-14 15:36-41

バルナバの故郷でもあるキプロスからスタートした伝道旅行は総督の劇的な救いという主のみわざを見ることが出来ました。そして一行は、さらに宣教の働きを進めて行くために、キプロス島を後にしました。ところが、その時働きに同行していたマルコと呼ばれるヨハネは働きの途中なのに一行から離れてエルサレムに戻って行ってしまいました。

1. 人生には時において挫折、失敗を経験することがある
2. 聖書にも挫折や失敗から立ち上がった人物の例がある
 - ・モーセ 使徒 7:35
 - ・ペテロ ルカ 22:31-34、61-62
 - ・パウロ I テモテ 1:12-16
3. 神様は挫折や失敗を経験した人を深く理解し、その味方となり回復と成長を与えてくださる
 - マルコは後には主の働き人として大きく成長し、ペテロの助手のようになって「マルコの福音書」をかき、またパウロの働きの良き協力者となって主に用いられました。
 - I ペテロ 5:13
 - コロサイ 4:11、II テモテ 4:11

【報 告】

※ 本日は午後 1 時から 8 月の役員会があります

※ 先週の水曜、ジュニアグループのバーベキュー交わり会が楽しくもたれました。

※ コロナの感染がじわじわと広がっているようです。改めて感染予防の注意をしつつ、この夏の酷暑を乗り越えさせていただきます。

【メモ】